

# 奈弓連だより

通巻 232号

令和3年6月号  
発行 奈良県弓道連盟  
会長 西中 正  
編集担当 松澤和実 中西省五  
連絡先: [henshu@narakyudo.jp](mailto:henshu@narakyudo.jp)

## 第11回 全日本弓道選手権大会 奈良県予選会 男子:吉本清巳選手(布目)、女子:白井礼子選手 (錬弓会)が最高得点賞

令和3年5月23日(日)に橿原公苑弓道場において第11回全日本弓道選手権大会奈良県予選会が男子10名、女子16名の参加にて開催されました。また、コロナ感染防止対策として県連が定めている事項を守っての開催となりました。

結果は以下の通りです。

### 最高得点賞

男子 吉本 清巳 教士七段 (布目)  
女子 白井 礼子 錬士六段 (錬弓会)

### 成年男子の部

1位 乾 光孝 錬士五段 (香芝)  
2位 吉本 清巳 教士七段 (布目)  
3位 赤松 順次 教士六段 (郡山)

### 成年女子の部

1位 白井 礼子 錬士六段 (錬弓会)  
2位 東中 千佳 錬士六段 (橿原)  
3位 松澤 和実 錬士五段 (奈良)



左から:2位、1位、3位入賞の皆さん

## 全日本弓道選手権大会出場選手選考結果

男子 吉本 清巳 教士七段 (布目)  
藤岡 順 教士七段 (郡山)  
女子 白井 礼子 錬士六段 (錬弓会)  
東中 千佳 錬士六段 (橿原)



藤岡選手、吉本選手、白井選手、東中選手

※選考された選手は8月1日(日)に兵庫県明石市で行われる、全日本弓道選手権大会近畿予選会へ出場します。(競技部 西田ゆり)

## 近畿地域弓道大会奈良県予選会

### 男子団体:五條チーム、女子団体:郡山チームが明石市で行われる本選へ(10月10日開催)

6月6日(日)橿原公苑弓道場に於いて男子29名10チーム、女子28名10チームが参加して開催されました。競技は1団体近的12射(各自4矢1回)で行われました。三密を避けるため、午前中は男子、午後から女子と別々に開催しました。本年度は、コロナ感染症対策として各地連で予選会を行い、10月10日(日)に兵庫県明石市で行われる本戦に出場する

### <近畿・全国> **延期が決定**

6/5,6 【近畿第2地区】特別臨時中央審査会  
教士・錬士(京都市・大阪市)  
6/20 【近畿地区】中央講習会(吹田市・明石市)  
**開催予定**  
7/3.4 【近畿第1地区】特別臨時中央審査会  
六・七・八段(大津市)  
7/17.18 関西学生弓道選手権予選 } オンライン形式  
7/25 関西学生弓道選手権決勝 } に変更

### <奈良県内> **中止が決定**

6/27(日) 伝達講習会・称号者 延期 期日未定  
7/3(土) 県教職員大会・第2回伝達講習会  
7/4(日) 奈良県民体育大会  
**開催予定**  
6/27(日) 9:30~ 審査員研修会  
13:00~ 的貼り・臨時連盟練習会  
7/3(土) 13:00~17:00 国体強化練習  
(事務局 藤岡 順)

団体男女各1チーム、個人男女各5名を選出するために予選会を行いました。また、コロナ感染防止対策として県連が定めている事項を守って大会は行われました。結果は以下の通りです。

### 【成年男子】

#### 団体の部

- 1位 今西 達也・山城 庸平・新子 修平  
(五條) 10中
- 2位 宮崎 健二・近田 恒久・山口 亮二  
(生駒) 9中
- 3位 原田 祐介・角田 圭一郎・奥田 章人  
(橿原) 8中
- (※3位は射詰め競射にて順位を決定)

#### 個人の部

- 1位 山口 亮二(生駒) 4中  
(24cm星的での射詰め競射にて順位を決定)
- 2位 乾 光孝(香芝) 4中  
(24cm星的での射詰め競射にて順位を決定)
- 3位 上山 友暉(橿原) 4中  
(24cm星的での射詰め競射にて順位を決定)

### 【成年女子】

#### 団体の部

- 1位 奥戸 由美・小山 淳子・平井 摂子  
(郡山) 5中
- 2位 松澤 和実・山本 悦子・松村 由喜子  
(奈良) 5中
- 3位 鷲尾 佐和子・八木 純子・白井 礼子  
(錬弓会) 5中
- (※射詰め競射にて順位を決定)

#### 個人の部

- 1位 八木 純子(錬弓会) 4中  
(24cm星的での射詰め競射にて順位を決定)
- 2位 平井 摂子(郡山) 4中  
(24cm星的での射詰め競射にて順位を決定)
- 3位 二階堂 ウララ(生駒) 3中  
(遠近競射にて順位を決定)

### 《近畿地域弓道大会本戦出場選手》

※団体男女各1チーム 個人男女各5名

### 【成年男子】

#### 団体の部

今西 達也・山城 庸平・新子 修平 (五條)

#### 個人の部

今西 達也(五條)・片山 猛(錬弓会)  
西川 建一(香芝)・乾 光孝(香芝)  
山口 亮二(生駒)

### 【成年女子】

#### 団体の部

奥戸 由美・小山 淳子・平井 摂子(郡山)

#### 個人の部

二階堂 ウララ(生駒)・八木 純子(錬弓会)  
瀬山 眞理子(橿原)・平井 摂子(郡山)  
山本 悦子(奈良)

(競技部 西田ゆり)

### 令和3年度全国高等学校総合体育大会

#### 第66回全国高等学校弓道大会

#### 第74回近畿高等学校弓道大会県予選

インターハイ県代表に団体女子は郡山高校、団体男子は高田商業高校が選ばれる

#### 個人 一次予選

5月29日(土) 女子

5月30日(日) 男子

8射5中以上で予選通過。

午前・午後の部でそれぞれ学校を割り当て、昼食を挟まず、できるだけ密にならないような日程で行った。無観客で行い、補助員も最小限の参加となった。

#### 個人・団体 二次予選(決勝)

6月5日(土) 橿原公苑弓道場

個人戦は、先週の予選通過者、女子21名、男子21名、により、準決勝(4射3中以上で通過)を行う。準決勝通過者は女子8名、男子3名であったので女子は9位・10位、男子は4位~10位を2中の者から決定した。

個人一次予選同様、無観客で行い、補助員も最小限の参加となった。

#### 個人戦 入賞者

#### 女子個人

- 1位 森山 まこと(郡山)
- 2位 沼田 優美香(榛生昇陽)
- 3位 杉岡 果穂(郡山)
- 4位 有持 笑子(郡山)
- 5位 鳥見 彩花(郡山)

- 6位 古岡 志帆 (檀原)
- 7位 高木 彩葉 (奈良)
- 8位 北村 優佳 (桜井)
- 9位 隈田 茉里奈 (桜井)
- 10位 馬原 美月 (郡山)

**男子個人**

- 1位 杉本 凌羽 (五條)
- 2位 岡本 優雅 (榛生昇陽)
- 3位 島本 步暉 (高田商業)
- 4位 古川 勇武 (畝傍)
- 5位 田中 蒼翔 (檀原)
- 6位 仲川 航平 (畝傍)
- 7位 百地 瑛祐 (奈良北)
- 8位 廣本 真吾 (奈良北)
- 9位 長谷川 桔平 (西の京)
- 10位 荒木 快 (桜井)



女子個人入賞者 前列左から1位  
後列左から6位



男子個人入賞者 前列左から1位  
後列左から6位

団体戦は、5月3日の予選通過校6校により総当たりのリーグ戦を行う。5人立各自4射20射により、5試合(100射)を行い、順位を決定する。

**女子団体**

- 1位 郡山高校 5勝0敗 69中  
馬原 美月・塩野 天音・玖山 陽菜  
有持 笑子・森山 まこと・小谷 花野子

- 2位 五條高校 3勝2敗 56中  
栢谷 怜実・谷端 紗妃・多田 朱葉  
仲本 理桜奈・片山 綾菜・弓場 羽衣
- 3位 檀原高校 3勝2敗 46中  
前田 紫・若林 玲亜・中埜 糸音  
古岡 志帆・中村 真望・種村 百々乃

**男子団体**

- 1位 高田商業高校 4勝1敗 56中  
島本 步暉・渡邊 大生・松本 優羽  
山口 圭太郎・西川 宗吾・福本 涼太
- 2位 桜井高校 3勝2敗 56中  
柴田 龍輝・吉村 和也・杉林 恭太  
小林 佑輔・金原 那智・荒木 快
- 3位 平城高校 3勝2敗 54中  
西谷 拓樹・山本 航輝・伊東 拓真  
松岡 真滉・中野 達也・中村 萌

個人1位2位、団体1位は、7月29日～8月1日に新潟県上越市で行われる、第66回全国高等学校弓道大会に出場する。

個人10位まで、団体3位までは、7月17日18日に兵庫県明石市で行われる、第74回近畿高等学校弓道大会に出場する。



女子団体入賞校  
前列1位 後列左2位 右3位



男子団体入賞校  
前列1位 後列左2位 右3位

(高体連 布施 慈人)

## 奈良県の支部、団体紹介

### 奈良大学体育会弓道部

#### 第二主務 小村洋太

こんにちは、奈良大学体育会弓道部です。私たちは、3回生 11人・2回生 12人・1回生 7人の計 30人で活動しています。コロナ禍での練習は週 2日、1日 2時間という制限のなか活動していましたが、4月 28日から当面の間活動停止となってしまい悲しいことに活動再開の目処が立っていないのが現状です。

最近入部した 1回生や、コロナの影響により入部時期が例年より遅れた 2回生たちに十分な練習をさせてあげることができなかつたり、師範の先生に大学へ来ていただき、ご指導いただくことが出来ない状況です。

そんな中ではありますが、今年の目標としては男女ともに変わらずリーグ昇格です。しかし、時節柄、公式戦の多くが延期・中止の措置を取られているため、リーグ戦が開催されるかは分かりません。もしリーグ戦が中止となっても、その目標に向けて取り組んだ練習は決して無駄にはならないので、部活動が再開された際には、リーグ戦の有無にかかわらず部員一同真剣に練習していきます。

最後になりましたが、部活動ができないと嘆いてネガティブになるのではなく、活動再開時に本来の実力を発揮できるように、各々自宅での筋トレやゴム弓を使った自主練習を行い頑張っていきます！



真剣なまなざしで

### 量る、測る、計る？



弓道には曖昧と思える数字の表現があると思われませんか？

例えば、立った時目線は鼻頭を通して「約 4m先」に注ぐ。座った時は「約 2m先」に注ぐ。足踏みの角度は外八文字に「約 60度」。打起しの際の腕の角度は「約 45度」。五重十文字はそれぞれ「ほぼ直角」に十字の形態をなしていなければならない。弓道教本の中には、たくさんの数字がでてきますが、それぞれが、「ほぼ」や「約」となっています。これは体格や体の動きの制限など、個々に合わせて自然な角度を考えなければならないからでしょう。また、ねらいや胸弦、口割は大切な要素ですが、これも人によって角度は違い、一概に何度とか、口の上何cmなどと決めることはできません。また、目線については、「注ぐ」とあり、「見る」ではありませんね。きっちり 4m先を見つめるとそこだけしか目に入らなくなります。約 4m先に目を注ぐことで、自分の周りが目に自然と入り、場を掌握することができるのです。これらとは反対に、しっかり測らないといけないものもあります。例えば競技規則では、射距離（近的 28m、遠的 60m）や立位置の間隔（標準は近的 1.8m、遠的 1.6m）、的の大きさや種類（霞的 36cm、星的 36cm、その他）、標的の位置（近的なら中心が安土敷より 27cm、傾斜 5度、遠的なら 100cm的、79cm、50cm的等、標的の中心は地上から 97cm、傾斜 15度）、本座から射位の距離等々がかなり細かく定められています。ただし、大会によっては的間隔を変更するなど、開会式や要項などで別途連絡が出される事がありますので、注意が必要です。

### 編 | 集 | 後 | 記

昨年度、多くの生徒や学生が、大会が中止となり、そのまま引退を余儀なくされた実情があります。特集号においても、そんな学校の部活動におけるコロナ禍の影響が浮き彫りとなりました。今年度は無事に予選会を開催でき、代表を選出できたこと、本当に喜ばしく思います。大学の大会はオンラインで実施されるものもあります。「できない」ではなく、「どうすればできるか」を考えることが大切であると改めて感じました。

(中西省五)